



2021.7.21

新渡戸文化子ども園 保健室

丹野・新田



日に日に日差しが強くなり、心弾む夏がやってきました。今年の夏は蜜を避け、自然豊かな野山や公園に出かけるご家庭も多いかと思えます。今月は夏に気を付けていただきたい虫について取り上げました。コロナ素敵な思い出をたくさん作ってくださいね。

## ドクガ



成虫は初夏から夏にかけて雑木林などで多く見られる。また、夜間に明かりにもよく集まる。幼虫は春から初夏に見られ、多種類の広葉樹の葉を食害する。毒毛は卵、幼虫、成虫の雌にあり、注意が必要。触ると激しいかゆみを起こす。

成虫



幼虫



## チャドクガ

幼虫は春から夏に見られる。チャヤツバキ、サザンカなどに群生して葉を食害する。ドクガ同様、卵や雌の成虫にも毒毛が付着している。



幼虫

## ハチ

人を刺すことが多いのは、スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチの仲間。人によっては繰り返し刺されると全身の発赤や頭痛、呼吸困難、おう吐などのアレルギー反応（アナフィラキシーショック症状）を起こすことがある。ミツバチの仲間は主に樹洞、アシナガバチの仲間は木の枝や葉の裏、スズメバチの仲間は樹洞や木の枝、民家の軒下に巣を作る。



スズメバチの巣

### こんなときは救急車を！！

ハチにさされて呼吸が荒くなり、けいれん、おう吐、発熱、といった症状が見られたら、大至急救急車を。

スズメバチ



アシナガバチ

## ブユ

体長3～4mmのハエに似た吸血性の昆虫。平地から山地の清流などに生息する。人のほか、ウシやウマなどの家畜の血も吸う。刺された直後は出血し、周期的に激しいかゆみが生じる。ブユはブユの通称。



ブユ  
(アシマダラブユ)

## 暑い夏を元気に乗り切るポイント

### 1. 水分補給

大量に汗をかくと、脱水症状を起こし、熱中症の原因にもなります。こまめな水分補給を心がけましょう。



### 2. 皮膚のケア

こまめに汗をふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔に保ちましょう。

### 3. 紫外線対策

外出時は帽子をかぶり、日焼け止めを塗るなどの紫外線対策も忘れずに。



### 4. 室温管理

高温・多湿など条件がそろえば、室内でも熱中症は起こります。エアコンを上手に使いましょう。ただ、冷やしすぎには要注意。設定温度27～28℃を目安にしましょう。